

## ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：国際看護学部 名前：吉川 恵理 作成日：2025年12月10日

### 1. 教育の責任

- \* 新しい命を育み家族を形成していく周産期にある母と児の身体的・心理的・社会的特性をふまえ、そのウェルネスの維持増進のために必要な看護の知識・技術・態度を教授する。
- \* 女性とその家族に関わる看護援助をエビデンスに基づいて教授する。
- \* 教育活動の全過程を通じて学生を尊重し、エンパワーする。

### 2. 教育の理念

- \* 国際看護学部の教育理念である多様性への理解と受容及び看護ができる看護教育の一翼を担っている。

### 3. 教育の方法

#### 【教育の目的と目標】

1～2年次キャリアプランニングで母性看護の特徴や魅力について伝え、2年次からの母性看護学概論、多様性とウィメンズヘルスでは、人間のセクシュアリティの生理的、社会的、国際的な特徴を教授し、3年次の演習で妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の看護実践技術を教授したうえで、実習で実際の対象への看護の展開ができるよう、教授-学習活動が積み重なるようにしている。さらに4年次の統合看護学実習では、これまでの学びを統合し、自立して看護の展開ができるようにしている。

学習の積み重ねに困難を生じる学生には、オフィスアワーの活用やチュートリアルを取り入れ、個別の対応を可能としている。

#### 【講義・演習・実習のつながり】

講義では、単元に応じた最新の政府統計や国際機関刊行物、学術論文から引用した資料を活用し、学生の知的好奇心を喚起しつつ、母性看護学の最新動向を踏まえている。さらに、母性看護学領域における医学英語に触れる機会を多くするため、講義スライドに日本医学英語検定の医学英単語も併記するよう工夫している。演習では、周産期（妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期）のウェルネスに焦点を当てた看護実践が展開できる能力を、ロールプレイの実践や母性看護シミュレーターを用いて教授している。英語資料も活用し、国際看護学部の中の母性看護学領域としての役割を担っている。また、実習と連動している援助論Ⅱでは、実習施設において現地の場所や物品を用いた技術演習やカンファレンスによる振り返りを適時に行う他、必要時には専門性を持ったゲストスピーカーとのコミュニケーションを十分に取ながら、効果的に学外の教育リソースを活用している。

学部の方針としてペーパーレス化を進めており、学生は一人一台ノートパソコンを保持している。また学内のシステムとして office365 を使用することができるため、ICT を利用した学習を行っている。

### 4. 教育の成果

- \* 学生アンケートも平均を高く上回っており、学習満足度は高い。講義・演習内での発表姿勢や実習場での出席、指導者の評価も良好で、看護する必要性を理解し、周産期にある母と児への看護実践の知識・技術・態度の各面で学生たちは順次育っているといえる状況である。

### 5. 改善への努力と今後の目標

- \* 医学英語を学ぶ国際看護学部として、母性看護学領域の医療英語を用いる機会を多くすることが課題である。今後、医療英語の予習・復習時間を授業内に確保することや、ネイティブのゲストスピーカーの活用も検討していく。
- \* 周産期の現場では外国人妊産婦の妊娠、分娩、産褥期に関わる機会も増加している。英語以外を母語とする妊産婦への支援について、実習施設での取り組みの実際、また厚生労働省や国内の支援団体のリーフレットやホームページを教材とし、授業や演習に活用していく。
- \* 学生アンケートの結果を基に、講義や演習、課題の内容を改良するなど、学生の意見に基づいて学習効果を高めるような工夫を継続する。

## ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：国際看護学部 名前：吉川 恵理 作成日：2025年12月10日

### 【添付資料】

\* シラバス：母性看護援助論Ⅰ、母性看護援助論Ⅱ、母性看護学実習

\* 学生アンケート（2025年度）

\* 開発教材：「母性看護援助論Ⅰ」演習風景一部抜粋

